

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 谷川 健一郎

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和8年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

| 質 問 事 項              | 質問の要旨(具体的にご記入願います)  |
|----------------------|---|
| <p>1. 公共施設再編について</p> | <p>【趣旨説明】<br/>                     本町では、令和7年3月に「武豊町公共交流拠点基本構想」を策定し、拠点内に導入する機能として、役場庁舎、保健センター、および交流施設を位置づけました。これを受け、今年度より基本計画の策定作業に着手するなど、施設整備に向けた具体的な動きが進められています。<br/>                     一方で、令和8年3月には、今後5年間の武豊町の指針となる、第6次総合計画後期基本計画が発表されました。その中で、主要課題の一つとして「公共施設の老朽化に伴う施設の維持管理コストの増大は避けて通れない行政課題」と明記し、「施設の集約・再配置(統合)・複合化についても長期的な視野の下、対応する必要がある」と記載されています。<br/>                     また、重点施策方針の中で「こどもの学び・育ちを応援するまちへ」を掲げており、老朽化が進む子育てや教育に関連する施設の再編も計画されています。<br/>                     限られた財源の中、適切なタイミングで、質の高い公共サービスを持続的に提供していくためには、従来の縦割りの施設運営から、戦略的で効果的な施設再編が不可欠だと考え、以下質問いたします。</p> <p>【質問事項】<br/>                     ①公共交流拠点へ整備予定の公共施設の現在の検討状況は。<br/>                     ②町民文化系施設のうち、図書館、歴史民俗資料館の利用状況は<br/>                     ③子育て支援施設のうち、耐用年数が過ぎている施設の利用状況は<br/>                     ④各施設の検討をする際、住民からの声を聞く計画はあるか</p> |
| <p>2. 三井家住宅について</p>  | <p>【趣旨説明】<br/>                     三井家住宅は、武豊町指定文化財の中でも、唯一建造物として指定され、旧庄屋という歴史的価値だけでなく、本町における山車文化の醸成とも密接な関わりがあります。現在、三井家住宅を護る会が中心となって、毎月2回の公開日に加え、歴史民俗資料館や他団体とのイベント企画や小学校への出前授業を行っています。町民が自分の住む地域に誇りを持つために大切な活動だと思えます。<br/>                     現在、日本を取り巻く少子高齢化は、文化財所有者や管理団体だけの維持管理を難しくしており、2019年の文化財保護法改正にて「文化財保存活用支援団体」制度が創設されるなど、文化財保護においても公民連携の強化が必要とされています。<br/>                     これらを踏まえ以下、質問いたします。</p> <p>【質問事項】<br/>                     ①三井家住宅の現在の保存状態と、今後の劣化リスクについてどのように考えているか<br/>                     ②所有者に対して、維持管理・修繕に関する町の支援内容と関与の現状は<br/>                     ③保存・活用に関して専門的な相談ができる体制は整備されているか<br/>                     ④文化財保存活用支援団体制度について検討したことはあるか</p>   |